

グリーン アクション

GREEN ACTION アンケート結果報告

2023年2月に実施した

**「GREEN ACTION アンケート」へのご協力
ありがとうございました。**

**カーボンニュートラルを進めるうえで参考とさせて
いただきます。**

最終回答数は9,677枚、回収率は8%でした。

回収率が低く残念でしたが、一方で強い思いを感じる言葉
がたくさん寄せられました。

「みどりの地球をみどりのままで子どもたちに手渡したい」

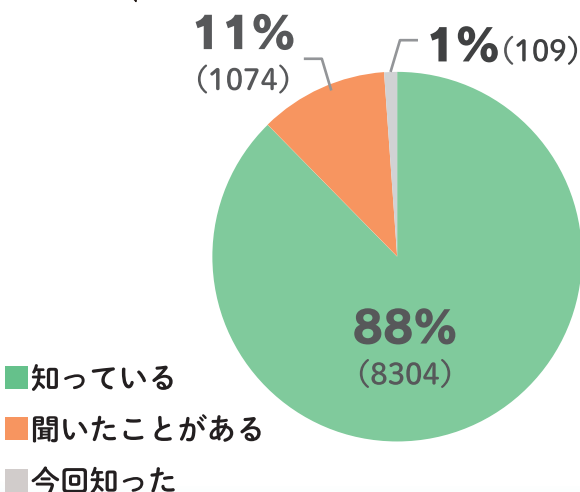
多くの方の共通の願いだと思えます。

これから私たちに何ができるか、一緒に考え実践していき
ましょう。

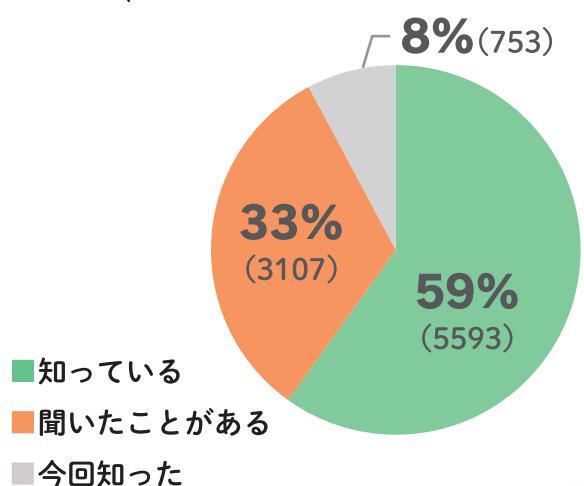


※()の中の数字は回答数です

1. いま地球が温暖化し、台風の大型化や豪雨災害の多発、山火事や干ばつ、極地の氷が溶けたことによる海面上昇や水害など様々なことが起こり、気候危機と言われているを知っていますか？



2. 地球温暖化を止めようと、「2050年までにCO₂などの温室効果ガスの排出実質ゼロ」を目標に日本や世界が動き始めているカーボンニュートラルを知っていますか？

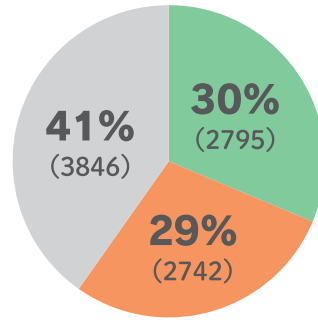


3.

グリーンコープでは、地球温暖化をとめるために事業で排出しているCO₂ (14,645t/年間)をゼロにする「2027カーボンニュートラル」に取り組むたいと検討を進めています。

①この取り組みを知っていますか？

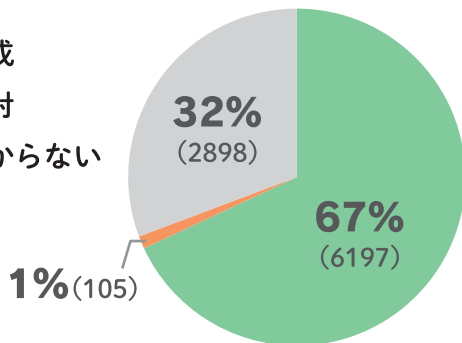
- 知っている
- 聞いたことがある
- 今回知った



グリーンコープが現時点で考えている「2027カーボンニュートラル」の取り組み内容は以下(②~④)のとおりです。

②事業所などで「グリーンコープでんき」を利用することでCO₂ (7,600 t/年間)を削減。

- 賛成
- 反対
- わからない

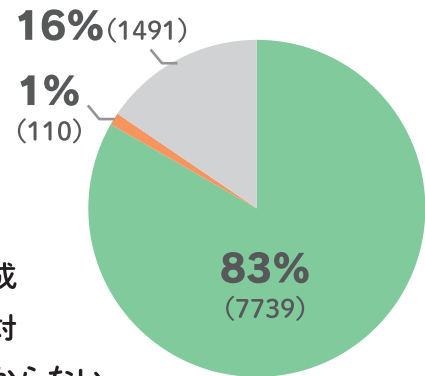


届いた意見

- ・再生エネルギーに取り組んでいることが、アピールされるから
- ・原発や化石燃料を使わない発電で持続可能な電気が得られるならそれに越したことはない
- ・継続性が確保できるかどうかわからないから
- ・太陽光発電が本当に環境に良いものなのか検討が必要

③省エネやドライアイスの削減でCO₂ (2,245 t/年間)を削減。

- 賛成
- 反対
- わからない

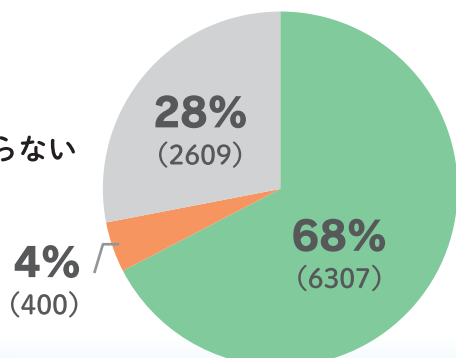


届いた意見

- ・便利さと引き換えに環境を壊してきたと思うので
- ・持続可能なことから取り組む姿勢に賛成です
- ・ドライアイスに限っては、個配をお願いしているので夏季の削減は困る
- ・品質維持が代わりのもので可能かわからないから

④車両を電気自動車に変えることでCO₂ (4,800 t/年間)を削減。
(リース契約が切れるタイミングで切り替え)

- 賛成
- 反対
- わからない



届いた意見

- ・電気自動車のほうが配送の方にとってメリットがあるのではないと思うので
- ・将来ガソリン車が主流のままであるという保証はない。先行してもいいとは思う
- ・電気自動車の電池やステーションの最終的な環境負荷がどれほどかわからない
- ・災害時や電気自動車を作るためのレアメタルの資源や廃棄など問題も多くある

⑤「でんき」「ドライアイス」「電気自動車」以外にCO₂削減で取り組んだ方が良くと思うものを教えてください。



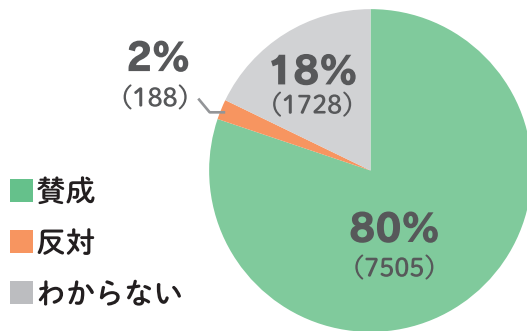
届いた意見

- ・コンポスト
- ・ビニール袋の削減
- ・プラスチック削減
- ・太陽光発電
- ・マイカーのお買い物(キープ班も含め)より配達に
- ・希望者以外にチラシ類を配布することをやめ、WEBを活用する
- ・屋外気温に影響されにくい住宅環境
- ・地産地消をさらに進める



- ・有機農業への投資
- ・循環式農業の産物をメインに取り扱う
- ・街の緑化を進める 海の高潮増やす
- ・CO₂を減らした農作物の育成を応援する
- ・せっけん類のボトル容器の廃止
- ・牛肉などの畜産物を食べ過ぎないこと
- ・工場畜産を減らして、代替肉の提案などしてほしい

4. 「2027カーボンニュートラル」に取り組むことについてどう思いますか？



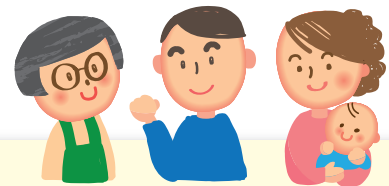
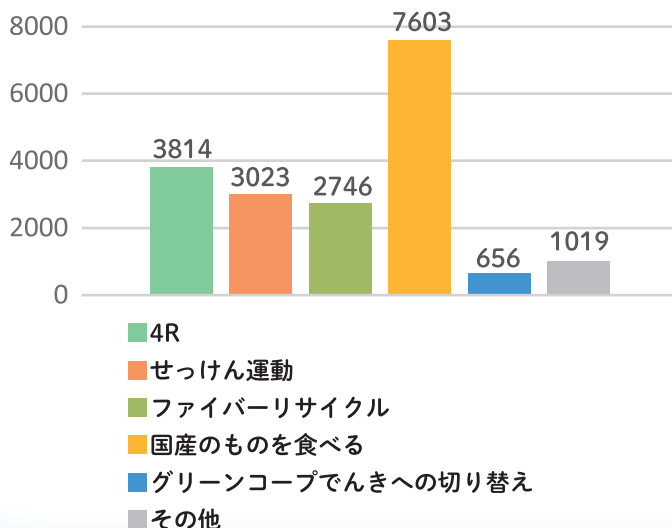
届いた意見

- ・環境保全のために必要なことだと思うから
- ・CO₂を出さないためには、取り組む必要がある
- ・地球温暖化=CO₂とは考えられないから
- ・過度なCO₂削減運動は経済を疲弊させて、世の中に貧窮を招くから

問5は裏面をご覧ください

6. 日々の生活で環境を守るためにしていることがあれば教えてください。

(複数回答可)



届いた意見

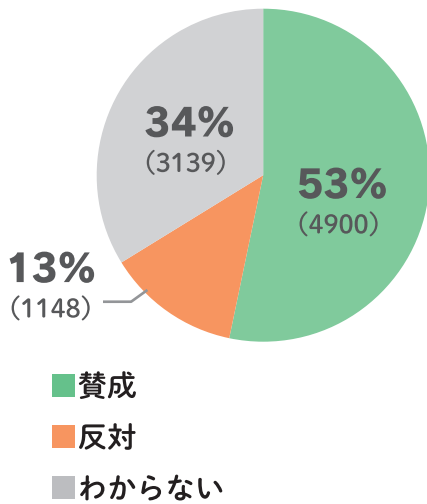
- ・節電・節水、省エネ
- ・太陽光発電にしている
- ・ごみの削減、分別、リサイクル、コンポスト使用、脱プラ
- ・自給できるものは自給する
- ・フードロス減らす
- ・生活に必要な物だけで生活する
- ・石油製品、プラスチック製品、化学繊維の衣類をできるだけ使用しない
- ・マイバッグ、マイボトル、手作り弁当
- ・食器洗いの前のふき取り

5.

カーボンニュートラルを達成するために、全ての商品に商品価格の1%を上乗せすることで、CO₂を最も削減できるとされている電気自動車に配送車を全車切り替えることが実現できると試算されています。

(例えば500円の商品が505円になります)

①その1%が含まれた商品を購入することについてどう思いますか？

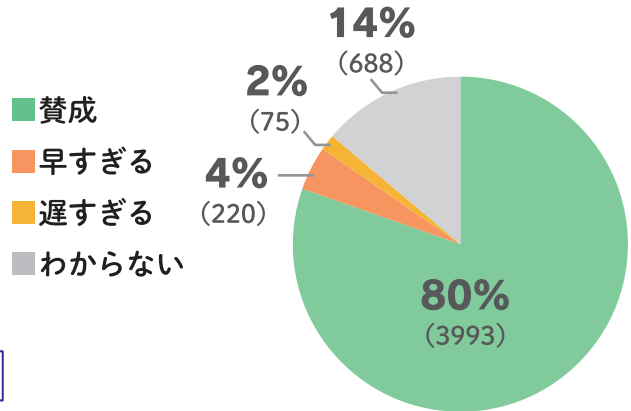


届いた意見

- ・電気自動車は、決して安くはないから、自分達が協力出来るのであれば協力したいと思うから
- ・気候変動に歯止めがかかるから
- ・助け合いが生協の仕組みなので、各負担は少ないけどみんなで協力するのはいいと思う
- ・地球が守られるなら、値上げも問題点ではない
今やらないといけない!!
- ・組合員自身が運動に参加していることが自覚できる
- ・1パーセントは負担が大きい
- ・EV車(電気自動車)導入に反対
- ・1%上乗せが組合員にとって、平等な方法か分からない
- ・商品価格も上昇している現状で、財政的には負担となる。できるときに寄付する形が望ましい
- ・値上げが続いている中でさらに値上げは家計に負担があります。しかし財源は必要だと思うので、組合員の方それぞれから基金カンパには賛成します

5-①で賛成を選ばれた方のみ回答

②2027年までに全車電気自動車に切り替えて、カーボンニュートラルを実現しようと考えていますが、どう思いますか？



5-①で反対・わからないを選ばれた方のみ回答

③カーボンニュートラルを実現するための財源をどのように集めると良いと思いますか？(複数回答可)

届いた意見

- ・クラウドファンディング
- ・出資金の増資や活用の見直しなど
- ・経費削減
- ・募金
- ・値上げするなら取り組むことに疑問



アンケートのご協力ありがとうございました。

